

2009

# 地歴最新資料

第10号 (2009年1月5日現在)

## INDEX

2008年5月～12月のおもなできごと・TOPIC! ..... 2

### 世界史

**特集** 世界史における16世紀の位置 ..... 3

〈第一学習社『改訂版 世界史A』教科書著者〉

芦屋女子短期大学教授 中村 薫

①アメリカ大統領選挙—オバマの勝利— ..... 5

### 日本史

②長崎での日本初の列福式 ..... 6

③絵画のあらたな発見 ..... 6

④新薬師寺旧境内の発掘 ..... 7

⑤万葉歌木簡の発見 ..... 7

⑥歴史遺産のあらたな動き ..... 8

### 地 理

⑦日本の領土は広がるか—大陸棚の拡大— ..... 9

⑧サンゴが島を救う ..... 9

⑨グリーンランド自治権拡大投票 ..... 10

⑩食料問題—飢餓人口の増加— ..... 11



第一学習社

## 2008 年 5 月～12 月のおもなできごと

(注)○内の数字は月を示す。下線部①～⑨は解説の掲載を示す。

| 政 治                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 社会・文化                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 国際情勢                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>⑤28 日、横浜市で第 4 回アフリカ開発会議開幕。</p> <p>⑥6 日、アイヌ民族の先住民認定を求める決議が、衆参両院で可決。</p> <p>⑥11 日、民主党などが福田首相への問責決議案を参院に提出し、可決。</p> <p>⑥18 日、日中両政府が、東シナ海のガス田の共同開発に合意。</p> <p>⑦7 日、北海道洞爺湖サミット開幕。</p> <p>⑦10 日、北京で 6 か国協議再開。</p> <p>⑨1 日、福田首相、突然の辞任表明。</p> <p>⑨24 日、自民党総裁の麻生太郎が首相就任。同日、新内閣発足。</p> <p>⑩1 日、観光庁発足。</p> <p>⑩31 日、⑦政府の総合海洋政策本部が、大陸棚の拡大申請を決定。</p> <p>⑪28 日、政府の安全保障会議で、イラクに派遣している航空自衛隊の撤収を決定。</p> <p>⑪28 日、最高裁が、裁判員候補者に選ばれた全国約 29 万 5000 人に、一斉に通知を送送。</p> <p>⑫5 日、改正国籍法成立。</p> <p>⑫13 日、太宰府市で初の日中韓サミットが開幕。</p> | <p>⑤23 日、⑤滋賀県の甲賀市教育委員会が、同市内の宮町遺跡から出土した木簡に『万葉集』の歌が書かれていたことが判明したと発表。</p> <p>⑧8 日、北京オリンピック開幕。</p> <p>⑩3 日、⑥国立科学博物館が、重要科学技術史資料(未来技術遺産)として、23 件を初めて登録。</p> <p>⑩7 日、南部陽一郎さん、益川敏英さん、小林誠さんがノーベル物理学賞。</p> <p>⑩8 日、下村脩さんが化学賞を受賞。</p> <p>⑩23 日、④奈良教育大学が、構内で 8 世紀中頃の新薬師寺の遺構(金堂跡)が発見されたと発表。</p> <p>⑪4 日、ユネスコ無形文化遺産制度が発足。日本の能楽、人形浄瑠璃文楽、歌舞伎を含む 90 件を登録。</p> <p>⑪24 日、②長崎市で、日本で初めてのローマ法王庁主催の列福式開催。</p> <p>⑪27 日、文化庁が、奈良県明日香村のキトラ古墳壁画のはぎ取り作業が終了したことを発表。</p> <p>⑫22 日、文部科学省が高等学校学習指導要領の改訂案を公表。</p> | <p>⑤2 日、ミャンマーに大型サイクロンが直撃。</p> <p>⑤12 日、中国中西部の四川省でマグニチュード 7.8 の大規模な地震が発生。</p> <p>⑥3 日、ローマの F A O 本部で、食料サミット開幕。</p> <p>⑦29 日、WTO の多角的貿易交渉(ドーハ・ラウンド)が決裂。</p> <p>⑧8 日、グルジアの南オセチア自治州にグルジア軍が侵攻。そこにロシア軍が軍事介入して戦闘。</p> <p>⑧18 日、パキスタンのムシャラフ大統領辞任。</p> <p>⑩11 日、アメリカが北朝鮮に対するテロ支援国家指定を解除。</p> <p>⑪4 日、①アメリカ大統領選挙の一般投票の結果、民主党のバラク=オバマ上院議員が当選。</p> <p>⑪24 日、大西洋まぐろ類保存国際委員会の年次会合で、2009～11 年のクロマグロ漁獲枠を現状より 2 割削減することを決定。</p> <p>⑪25 日、⑨グリーンランドで自治権拡大の可否を問う投票が実施され、可決。</p> <p>⑪26 日、インド西部の都市ムンバイ中心部で、同時多発テロが発生。</p> <p>⑫2 日、タイでソムチャイ政権が崩壊。17 日、民主党のアピシット党首が首相に就任。</p> <p>⑫3 日、ノルウェーでクラスター爆弾禁止条約の署名式が開催、日本を含む 94 か国が署名。</p> |

## TOPIC!

### ●イスラエル軍がガザに侵攻 世界史

2008 年 12 月 27 日、イスラエル軍はパレスチナ自治区ガザへの大規模空爆を開始した。ガザは、2007 年 6 月のイスラーム原理主義組織ハマスによる武力制圧後、パレスチナ自治政府統治のヨルダン川西岸地区とは分裂状態にある。2008 年 6 月にハマス＝イスラエル間で半年間の停戦合意がなされるも、ガザからイスラエル領へのロケット弾攻撃は続き、12 月の停戦失効後はロケット弾攻撃が激化していた。イスラエルは、2009 年 1 月 3 日には地上部隊による侵攻を開始し、5 日には空爆開始からの死者が 500 人に達したとされる。ハマスも徹底抗戦を表明しており、紛争の長期化が懸念されている。

### ●キトラ古墳壁画のはぎ取り終了 日本史

2008 年 11 月 27 日、文化庁は、奈良県明日香村のキトラ古墳壁画のはぎ取り作業が終了したことを発表した。作業は、2004 年 8 月から文化庁主導のもとでおこなわれていたが、このたび、最後に残った天体図(星宿)のはぎ取りが終了し、開始から 4 年 3 か月を経て、確認されるすべての壁画のはぎ取りが終了した。天体図は、下地のしっくい劣化してろくなっていたため、全体を合計 113 片に分割した。これまではぎ取った壁画は、現在、修復作業が進んでいる。石室を覆う泥の下に十二支図の辰・巳・申が残っている可能性も指摘されており、今後は絵周辺の余白のしっくいのはぎ取りが予定されている。参照『最新日本史図表』(折込 p. 53)、『新編日本史図表』(前見返し)

### ●岡山市、政令指定都市へ 地理

2009 年 4 月 1 日に、岡山市が政令指定都市に移行する。2007 年に移行した新潟市と浜松市に続く、全国で 18 番目の政令指定都市となる。政令指定都市は人口 50 万人以上の都市から指定され、県から事務や財源が委譲される。

### ●クロマグロの漁獲枠削減 地理

2008 年 11 月 17 日～24 日に、モロッコのマラケシュで、大西洋まぐろ類保存国際委員会(I C C A T)の年次会合が開催された。減少が懸念されているクロマグロの、東部大西洋と地中海での漁獲枠を現在の 2 割減にすることや、巻き網漁の期間を短縮することなどが決定された。日本で消費されるクロマグロの約 6 割を、東部大西洋・地中海産が占めている。



## はじめに

現在実施されている高等学校学習指導要領(1999 年告示)において、世界史Aの内容は、16 世紀以前・16～19 世紀・20 世紀からなっており、世界史Bの内容は、世界史への扉について、概ね古代・中世・近代(16～20 世紀初期)・現代からなっている。いずれにしても 16 世紀という時代が一つの画期とみなされていることは明らかであり、本稿では世界史の中で、16 世紀という時代がどのように扱われてきたかを考察し、あわせて最近の世界史教育にとって重要と思われる出来事について記したい。

### 1. 学習指導要領からみた 16 世紀ヨーロッパの位置

世界史という科目が登場したのは 1949 年のことであるが、その内容構成が明らかにされたのは 1951 年改訂版の学習指導要領(試案)においてであった。この時の学習指導要領で、世界史は「近代以前の社会」「近代社会」「現代の社会」の 3 つの大項目に分けられて、近代社会の参考目標として「ヨーロッパ社会の世界的発展を理解すること」「アジア社会の近代化の遅れた意義を理解し、民主主義への熱情をたかめること」とされ、近代社会の参考内容はルネサンス・宗教改革・「地理上の発見」から始まっていた。

ついで、1956 年度改訂版の学習指導要領では 3 区分はなくなったが、8 つのうちの 5 番目に「欧米における民主主義の展開と近代文化」という大項目が、1960 年告示の学習指導要領では 8 つのうちの 4 番目に「市民社会の成立と近代文化」という大項目があり、いずれもルネサンス・宗教改革・「地理上の発見」がそのはじめに記されていた。

1970 年告示の学習指導要領では、東アジア・西アジア・ヨーロッパという 3 つの文化圏が示され、それぞれの文化圏の形成と発展の後に、「ヨーロッパ市民社会の成立と発展」という大項目が置かれ、その最初の「近代ヨーロッパの誕生」という中項目で、ルネサンスなどが扱われていた。

このように戦後、世界史という科目が誕生して以来、16 世紀ヨーロッパは近代化もしくは世界の一体化にとって重要な時期として扱われてきたのであるが、1978 年告示の学習指導要領では、各文化圏の下限が 18 世紀に引き下げられて、新たに「19 世紀の世界」という大項目が設けられ、16 世紀ヨーロッパは「ヨーロッパ文化圏の形成と発展」という大項目の中の「ヨーロッパの社会と文化の変動」「国民国家の形成と国際関係」という中項目でわずかに扱われ

るにすぎなくなった。『高等学校学習指導要領解説—社会編—』では「従来のいわゆる西力東漸的な『世界史』把握を改める」と記されていた。

こうして学習指導要領の上では、16 世紀ヨーロッパを画期とみなす世界史像は消滅したのだが、かなりの世界史教科書は従来どおりの 3 区分を踏襲し、第 2 部の最初でルネサンス・ヨーロッパ世界の拡大・宗教改革という節が置かれていた。

1989 年告示の学習指導要領で、高等学校の社会科は地理歴史科と公民科に分割され、世界史Aの内容は、19 世紀以前の諸文明の歴史的特質および接触と交流、19 世紀の世界、現代世界に分けられ、世界史Bの内容は 1978 年の学習指導要領とほぼ同様であった。

そして、現行の学習指導要領では、はじめに記したように 16 世紀が画期とされ、世界史発足当初の世界史像が復活したかにみえる。とはいえ、世界史Bで 16 世紀から 20 世紀初期にかけての世界の動向を扱う「諸地域世界の結合と変容」という大項目では、最初に「アジア諸地域世界の繁栄と成熟」、ついで「ヨーロッパの拡大と大西洋世界」という中項目が置かれていることでわかるように、経済的に繁栄していたアジアに対してヨーロッパ諸国が直接交易を求めて進出していくという構成をとっている。その結果、これまで 3 区分を続けてきた教科書も、第 2 部の最初を「アジア諸地域の繁栄」ついで「近代ヨーロッパの成立」として、ヨーロッパ中心の見方が相対化されたという点が特筆できよう。一方、世界史Aでは「一体化する世界」という大項目が置かれて、「大航海時代の世界」という中項目が最初に登場して、ヨーロッパ人の海外進出の背景としてルネサンスや宗教改革が扱われることとなった。そのため、従来どおりのヨーロッパ中心の見方とみなされてもやむをえない状況があった。

### 2. 1980～90 年代の研究動向からみた 16 世紀像

学習指導要領の上で、16 世紀ヨーロッパの歴史的 position が低下した 1980 年頃に、ウォーラーステインの『近代世界システム』が日本で翻訳され、16 世紀のヨーロッパは再び脚光を浴びた。ウォーラーステインは、16 世紀頃に西ヨーロッパで成立した近代世界システムが次第にその地理的範囲を拡大して 19 世紀頃に地球全体を覆うようになったと説き、その世界システムでは、「中核」である西ヨーロッパ諸国が、中南米や東欧、やがてアフリカその他を「周

辺」として経済的に従属させたとする(邦訳、岩波現代選書、1981年)。現行の学習指導要領では、近代世界システムについて直接は触れていないが、『高等学校学習指導要領解説—地理歴史編—』では、「ヨーロッパ内部での経済的分業体制が成立」や「西ヨーロッパを中心とする国際的分業体制が形成」といった言葉が記されていた。

また、これまで時代区分について様々な見解が対立していた中国史について、岸本美緒は16世紀以降のヨーロッパでの絶対主義体制や日本の幕藩制の成立の背景にあったグローバルな衝撃、すなわち銀の大量流通に伴う交易の活発化と社会の流動化、そして政治秩序再編の動きは中国にもみられたとして、16～18世紀を東アジアの「近世」と位置づけた(『東アジアの「近世」』山川出版社、1998年)。岸本はさらに、この時期に東アジアや東南アジアの海域で活発な交易が行われ、その中からこれらの地域で新しい国家の枠が固まってくるとして、16世紀以後における東アジア世界・東南アジア世界の密接な関係に注目した(「東アジア・東南アジア伝統社会の形成」『岩波講座世界歴史13』1998年)。

第一学習社の『最新世界史図表 三訂版』では、こうした研究成果を反映して、明・清時代の東アジア世界と東南アジア世界を一体的にとらえるテーマを設定している。

### 3. 近年の研究動向

このように16世紀を重視した見解に対し、近年新しい見解が紹介され、それにともなう我が国でも様々な考えが提示されている。例えばウォーラーステインの世界システム論に対しては、フランクが『リオリエント』で、18世紀に至るまで世界経済の中心は東アジアの中国を中核とするアジア世界であったとし(邦訳、藤原書店、2000年)、アブールゴドは『ヨーロッパ覇権以前』で、前近代世界システムにおけるモンゴルの重要性を主張した(邦訳、岩波書店、2001年)。さらに『リオリエント』の訳者である山下範久は、16世紀から19世紀までは、ロシア、オスマン、ムガル、明・清、およびヨーロッパという5つの「近世帝国」が並存し、近代世界システムは19世紀に入るまでは、ヨーロッパ規模および環大西洋規模の地域的なシステムでしかなかったと説いた(『世界システム論で読む日本』講談社選書メチエ、2003年)。

また、アメリカのカリフォルニア学派の重鎮であるポメラントツは西欧と東アジアの比較地域経済史の観点から、1750年頃まで中国の長江流域・日本・西ヨーロッパの経済は発展の程度でほぼ同じであり、西ヨーロッパが世界経済の中核地域へと「大分岐」できたのは、石炭と新大陸貿易のおかげであったとした(秋田茂「イギリス帝国とヘゲモニー」『歴史学のフロンティア』大阪大学出版会、2008年)。

アジアについて、杉山正明は岸本と同じ頃、9世紀から16世紀までの東アジアを含めた中央ユーラシア世界の概説を記し、16世紀に世界史が「陸の時代」から「海の時代」へと大きくスタンスを移したとしつつも、13・14世紀にモンゴルにより、全ユーラシア規模で巨大な人との交流と経済・文化の繁栄がおとずれ、歴史はまったく別の段階に入ったとした(「中央ユーラシアの歴史構図」『岩波講座世界歴史11』1997年)。この考えをさらに発展させて、杉山はモンゴル帝国崩壊後にその影響を受けて成立した大型の「地域帝国」が並立して20世紀にまで及んだとし、モンゴル帝国の世界史における意義を強調した(『モンゴル帝国と長いその後』講談社、2008年)。

また、「海域アジア史」の共同研究を進めている桃木至朗らはこの地域の時代区分を、中世(9世紀～14世紀前半)、近世前期(14世紀後半～17世紀初頭)、近世後期(17世紀中葉～19世紀初頭)に分け、14世紀のユーラシア規模での全般的危機に対して混乱収拾を図る明朝の対応にもかかわらず、周辺海域ではかえって交流が活発化し、東アジアと東南アジアがかつてなく強い結びつきをもったとした(桃木至朗編『海域アジア史研究入門』岩波書店、2008年)。

### おわりに

以上のように、様々な世界史像が提起されている中で、高等学校での世界史教育にとって重要な出来事が現在進行している。2008年2月に発表された中央教育審議会の「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)」では、「地理歴史に関する総合的な科目の設置については、具体的な教育内容の在り方等について今後更に検討する必要がある」とされた。

同年6月、日本学術会議主催で「高校教育における時間と空間認識の統合—世界史未履修問題をどう解決するか—」という公開シンポジウムが行われ、その場で桜井由躬雄は世界史の流れの中で日本と世界の関係性を描く「歴史基礎科目」の創設を提起した。日本学術会議は2009年中に提案をまとめたことのであった。

なお、本稿脱稿間際の12月22日、高等学校学習指導要領の改訂案が公表された。世界史Bの内容構成はほとんど変わらないが、世界史Aについては「世界史へのいざない」について、「世界の一体化と日本」という大項目が置かれ、その最初に「ユーラシアの諸文明」、次に「結びつく世界と近世の日本」という中項目が置かれるという構成を取っている。

以上のような現在進行中の出来事に対し、今後幅広い論議が巻き起こることを期待して、本稿を終えたい。

## アメリカ大統領選挙—オバマの勝利—

## ●アメリカ史上初の黒人大統領の誕生へ

2008年11月4日、アメリカ大統領選挙の一般投票の開票がおこなわれ、「変革」を訴えた民主党のバラク=オバマ上院議員(47)が、共和党のジョン=マケイン上院議員(72)を大差で破り、アメリカ史上初の黒人大統領が誕生することが決まった。第二次世界大戦後ではケネディ、クリントンについて3番目に若い大統領となる。オバマは2009年1月20日に第44代大統領に就任する。

## ●オバマへの幅広い層の支持

今回の投票率は64.1%で、ケネディがニクソンを破って当選した1960年選挙の63.8%を上回り、第二次世界大戦後では最高となった。得票率はオバマ53%、マケイン46%であった。出口調査によると、オバマは、圧倒的な黒人の支持のほか、若い世代からの強い支持を取りつけたことがわかる。また、サブプライムローン問題を発端とする金融危機の影響の大きさから、人種問題や女性票という争点がかげり、経済問題の解決が重視されたことがうかがえる。いずれにしても、オバマは共和党ブッシュ政権への不満を抱える国民からの大きな期待を受けて、勝利をおさめたといえる。

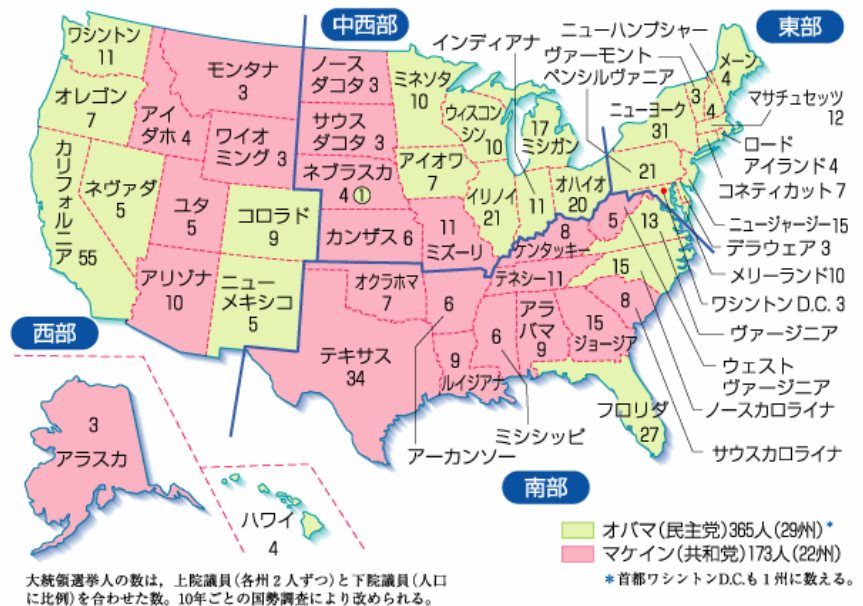
終わりの見えないテロとの戦いや、グローバルな金融危機での経済弱体化により、超大国の威信が低下しているが、国際社会でのアメリカの存在感は圧倒的であり、新大統領に就任するオバマに対して、アメリカ国民だけでなく世界中が、その指導力に大きな期待を寄せている。

## ▶ 2008年アメリカ大統領選挙結果

前回の2004年選挙でブッシュの共和党が勝利をおさめた州のうち、西部のネヴァダ・コロラド・ニューメキシコ、中西部のアイオワ・インディアナ・オハイオ、南部のヴァージニア・ノースカロライナ・フロリダの9州を民主党が奪った。

## ▼有権者の投票動向（米メディアの出口調査による）

| オバマ |             | マケイン |
|-----|-------------|------|
| 49% | 男性          | 48%  |
| 56  | 女性          | 43   |
| 43  | 白人          | 55   |
| 95  | 黒人          | 4    |
| 67  | ヒスパニック・ラテン系 | 31   |
| 66  | 18～29       | 32   |
| 52  | 30～44歳      | 46   |
| 50  | 45～64歳      | 49   |
| 45  | 65歳以上       | 53   |
| 69  | 初めて投票       | 30   |
| 60  | 年収5万ドル未満    | 38   |
| 49  | 年収5万ドル以上    | 49   |
| 37  | 4年前より家計上向き  | 60   |
| 71  | 4年前より家計悪化   | 28   |



\*2004年大統領選挙の結果や、大統領選挙のしくみ、過去の選挙結果、2008年大統領選挙日程などについては、[地歴最新資料第2号・特集「アメリカ大統領選挙」](#)、[地歴最新資料第8号・解説6「2008年アメリカ大統領選挙スタート」](#)を参照。

### ●列福式の開催

2008年11月24日、長崎市において、ローマ法王庁が日本人188人を聖人に次ぐ「福者」に列する列福式が開催された。日本でこの列福式が開催されるのは初めてで、国内外から信者ら約3万人が参列した。

1981年来日した前ローマ法王ヨハネ=パウロ2世が長崎市の殉教地を訪問したことをきっかけに、国内でキリシタン弾圧時代の殉教者を福者に推す動きが高まり、日本カトリック司教協議会総会の決定によって正式に列福調査・人選が始まり、1996年にローマ法王庁に申請された。法王庁で慎重な審査がおこなわれ、2007年2月に法王庁の枢機卿会議の承認を得た。同年6月にローマ法王ベネディクト16世が裁可し、日本人188人を福者とするのが正式に決定した。長崎市の県営野球場を会場とした式典では、特使である法王代理のジョゼ=サライバ=マルティンス枢機卿が法王の書簡を読み上げ列福を宣言した。

### ●188人の殉教者

今回福者となった188人は、いずれも江戸幕府成立から鎖国体制が確立する時期に迫害された殉教者で、天正遣欧使節の一人である中浦ジュリアン、ローマに渡りイエズス会の司祭となったペトロ岐部らがいる。188人のうち司祭は4名で、そのほとんどは無名の信徒であり、女性が3分

の1を占めている。場所別では、「米沢の殉教者」（山形県）が53人、「京都の殉教者」（京都府）が52人と多い。日本ではこれまで1862年と1987年に42人が聖人に、1867年に205人が福者とされているが、日本で殉教した外国人司祭のほか、男性の指導的な信徒が多かった。

### 用語解説

#### ■中浦ジュリアン(1569頃～1633)

肥前国中浦(長崎県西海市)出身。1582年、天正遣欧使節の副使として長崎を出発、ローマ法王に謁見した。帰国後イエズス会に入会、1608年に司祭となった。江戸幕府による禁教令以後も九州各地で布教し、1633年に捕らえられ長崎で殉教した。

参照 『最新日本史図表』(p.132), 『新編日本史図表』(p.100)

#### ■ペトロ岐部(1587～1639)

豊後国浦辺(大分県国東市)出身。有馬のセミナリオで学ぶ。その後、インドからアラビア半島に渡り、日本人として初めてイェルサレムを巡礼。ローマに入り、1620年に司祭となった。1630年に帰国し、長崎から東北に潜入して布教活動をおこなったが、1639年に仙台で捕縛され江戸送りとなり、拷問を受け殉教した。

### ●狩野永徳「松に叭叭鳥・柳に白鷺図屏風」

数十年にわたり消息不明であった狩野派の屏風絵が、このほど見出された。美術蒐集家として名高い実業家の原富太郎(三溪)(1868～1939)が所蔵していた作品で、かつては、狩野元信の作とされていたが、あらたに元信の孫である狩野永徳の作と判断された。作品は「松に叭叭鳥・柳に白鷺図屏風」とよばれる6曲1双の墨画で、縦160.5cm、横351.0cmの室町～安土桃山時代の作品である。右隻は春から夏にかけての情景、左隻は秋から冬にかけての情景をあらわす。右隻には、溪流のほとりに太い根をはった松、13羽の叭叭鳥が描かれる。左隻には、落葉したジグザグ状の柳の幹と16羽の白鷺が描かれる。樹木や岩の筆致の特徴は、同じく永徳作の「花鳥図襖」(京都・聚光院蔵)と類似し、2つの作品はほぼ同時期に描かれたものと考えられる。

永徳の作品は、2006年にもあらたな作品がみつかった。4曲1双の屏風絵で、作品は「洛外名所遊楽図屏風」という。右隻には、京都西山の名所が描かれている。広い街路に行き交うさまざまな階層の人々や商家が描かれ、門前町のにぎわいのようすもわかる。左隻には、宇治川や宇治橋、平等院鳳凰堂など、宇治の名所が描かれている。人物の描写などは、同じく永徳作の「洛中洛外図屏風」(山形・米沢市上杉博物館蔵)と類似し、同時期の永徳20歳代の作品と推定される。

参照 『最新日本史図表 二訂版』(2009年度用)では、狩野永徳の「花鳥図襖」(表紙)、「洛外名所遊楽図屏風」「洛中洛外図屏風」(p.142)を掲載いたします。

## 新薬師寺旧境内の発掘

### ●新薬師寺金堂跡の発見

奈良市高畑町の奈良教育大学構内で、8世紀中頃に建立された新薬師寺の遺構が発見された(2008年10月23日、奈良教育大学発表)。同大学の校舎建て替えにともなう調査で、調査区域はキャンパスの北東に位置する約1,300㎡。ここは、現在の新薬師寺本堂の西約150mに位置する。

調査区域の中央部西側から、基壇石組みの最下段の凝灰岩列(延石)と雨落ちに相当する瓦の堆積する溝などが、東西方向に連なってみつかった。その後、あらたな石組みと柱跡も確認された。基壇の幅は約68m、建物本体の幅は約59mにもおよぶと推定され、東大寺大仏殿(東西57m、南北50.5m、高さ46.4m)をしのぐ大きさであったことが判明した。建物は、その位置や推定される大きさ・基壇の高さから、756(天平勝宝8)年に成立したとされる『東大寺山堺四至図』(正倉院宝物)に描かれた新薬師寺の七仏薬師堂(金堂)とみられている。建物の正面に幅約52mの階段がつき、奈良時代では類例のない構造であったこともわかった。専

門家は、基壇の規模を東西約68m、南北約28m、高さ約2m、建物本体の幅は13間(柱間が13か所)と推定している。

### ●奈良教育大学敷地内の遺跡

奈良教育大学のキャンパスの東半分強が、新薬師寺の寺地に含まれていたと推定される。構内には、ほかに吉備塚古墳がある。キャンパスの北西部に位置する6世紀頃の古墳で、吉備真備の墓といわれている。これまでの調査で、2基の埋葬施設が確認され、三累環頭大刀、挂甲等学術的価値の高い遺物も多数出土している。詳細はまだ判明していないが、吉備塚は江戸時代から大和の名所の一つとして紹介されている場所である。この地は、1908(明治41)年に旧陸軍歩兵第53連隊の敷地内に取り込まれ、戦後、米軍の駐屯地として接収された。その後、1958(昭和33)年に奈良学芸大学(現在の奈良教育大学)が移転し、現在に至る。奈良教育大学の構内には、一部に旧陸軍時代の建造物や遺構も残る。

**参照** 『最新日本史図表』(p.59「奈良大地図」)

## 万葉歌木簡の発見

### ●宮町遺跡の木簡

滋賀県甲賀市信楽町の宮町遺跡で出土した木簡に、最古の歌集である『万葉集』に収録された歌が書かれていることがわかった(2008年5月23日、甲賀市教育委員会発表)。『万葉集』の歌が書かれた木簡がみつかったのは今回が初めて。宮町遺跡は、奈良時代に聖武天皇が造営した紫香楽宮跡とされる遺跡で、歌木簡は、1997年に宮の中心部近くの溝から出土した。幅約2cm、厚さ約1mmで、長さは約60cmと推定される。従来は、木簡の削りくずとされていた。

歌は「安積山の歌」とよばれるもので、反対の面には、「難波津の歌」が記されていた。「難波津の歌」は、『万葉集』には収録されていないが、古代から伝わるものである。両歌とも万葉仮名で墨書されている。このほど、「安積山の歌」は「阿佐可夜」「流夜真」の7字、「難波津の歌」は「奈迹波ツル」などの13字が、奈良文化財研究所の赤外線撮影で確認された。両歌は、字体などが異なり、別人が書いたものとの見方が強い。

『古今和歌集』仮名序において、紀貫之は、この両歌を

初めて和歌を習得する際に必ず学ぶ「歌の父母」のようなものとして紹介している。歌木簡は、一緒に出土した木簡に記された年号から、744年末～745年初め頃のものと考えられる。今回の発見は、「安積山の歌」と「難波津の歌」の組み合わせが、紫香楽宮の時代にすでに存在していたことを示し、また、『万葉集』成立以前に書かれた可能性も指摘されている。なお、2008年10月に、奈良県明日香村の石神遺跡で出土した7世紀後半の木簡に、『万葉集』の歌が記されていることがわかった。宮町遺跡に次ぐ国内2例目の万葉歌木簡の出土となったが、年代は宮町遺跡を約60年もさかのぼる最古の例となった。

#### 用語解説

#### ■難波津の歌

「難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花」

#### ■安積山の歌

「安積山 影さへ見ゆる 山の井の 浅き心を わが思はなくに」

## ●未来技術遺産 23 件が初めて登録

国立科学博物館(東京・台東区上野)は、日本の科学技術の発展を示す貴重な科学技術史資料、国民生活・経済・社会・文化に顕著な影響を与えた科学技術史資料を、「重要科学技術史資料(未来技術遺産)」として登録、その保存と情報の蓄積・公開に努めることとした。その第1回として、2008年10月に、電子機器・化学工業などの産業の分野から、VTR技術・第1世代コンピュータなどの技術分野の23件を登録した。このなかには、初の純国産ロケット「H-IIロケット7号機」、VHS方式家庭用ビデオ第1号機(日本ビクター)、電子式卓上計算機「カシオミニ」や、1926年に高柳健次郎がブラウン管式テレビでの画像受信に成功した際の実験装置(「イ」の字を記した雲母板)などがある。登録は今後継続的におこなわれる。

幕末から明治、大正・昭和初期にかけて建造され、日本の近代化を支えた建物を「近代化遺産」とよぶ。近年、こうした近代化遺産が注目を集めているが、建物に限らず、産業の諸分野において、それぞれの発展に貢献したものを「遺産」として認定し、保存する動きが活発化している。例えば、日本機械学会は2007年に「機械遺産」を制定、三池港水圧式閘門(福岡・大牟田市)などが認定された。日本航空協会は2008年に「重要航空遺産」を制定、九一式戦闘機と戦後初の国産旅客機YS11をそれに認定した。日本化学学会でも「化学遺産」の認定を検討している。

## ◆未来技術遺産一覧表

- 1 特別高圧油入変圧器(現在最古の変圧器)
- 2 巡洋戦艦「金剛」搭載ヤーロー式ボイラー(現存最古級の艦艇用ボイラー)
- 3 TYK無線電話機(世界初の無線電話)
- 4 手吹式ガラス円筒(日本最古級の板ガラス製造用のガラス円筒)
- 5 高柳式テレビジョン「イ」の字書き雲母板(世界初のブラウン管式テレビの被写体)
- 6 分割陽極マグネトロン(マイクロ波技術への世界的貢献)
- 7 依佐美送信所送信装置一式(ヨーロッパとの電波の架け橋)
- 8 第1号ナイロン紡糸機(日本初のナイロン製造装置)
- 9 国産初期の硬質塩化ビニル管サンプル(日本最初期の塩ビ管)
- 10 国産大型船用ディーゼル実験機関(日本初の排気過給機付きディーゼル機関)
- 11 自溶炉図面(42枚)(銅精錬の技術革新)
- 12 空気湿電池300型(乾電池普及以前の電源)
- 13 タービン発電機(旧千葉火力発電所1号機)(戦後初の火力発電用タービン)
- 14 大阪大学真空管式計算機一式(日本最初期の真空管式電子計算機)
- 15 K T - P I L O T (パイロット計算機)(世界に先駆けたマイクロプログラム方式コンピュータ)
- 16 噴水型飲料用自動販売機(自販機普及のさきがけ)
- 17 電子式卓上計算機コンペット(CS-10A)(世界初のオールトランジスタ電卓)
- 18 喜撰山発電所フランシス形ポンプ水車(世界最大容量だった揚水発電用水車)
- 19 電子式卓上計算機カシオミニ(電卓普及の契機となった)
- 20 VHS方式家庭用ビデオ(HR-3300)(世界基準となったVTR)
- 21 SCARA試作機(世界で定番となった産業用ロボット)
- 22 縮小投影型露光装置NSR-1505G2A(世界を席巻した集積回路の製造装置)
- 23 H-IIロケット7号機(初の純国産ロケット)

## 解説②～⑥に関連するホームページのURL

国立科学博物館 ◆ <http://www.kahaku.go.jp/institution/sts/material/index.html>

重要科学技術史資料(未来技術遺産)の第1回に登録された23件について、詳細に説明している。

## 解説 7

# 日本の領土は広がるか—大陸棚の拡大—

### ●大陸棚の拡大申請

2008年10月31日、政府の総合海洋政策本部は、排他的経済水域を超える太平洋上に、国土の面積の倍に相当する約74万km<sup>2</sup>の大陸棚があるとの調査結果をまとめた。

国連海洋法条約では、2009年5月までに国連の大陸棚限界委員会に海底の調査結果を提出し、国土の海底が地続きであることが科学的に認められた場合、最大350カイリ(約650km)まで大陸棚を拡張できる、と定めている。2008年12月現在、12か国が申請し、そのうちオーストラリア・ニュージーランド・アイルランド・ブラジルが認定を受けている。

日本も31日の調査結果を受け、委員会に拡大申請をおこなうことを決定している。審査には、数年かかる見通しで、他国の申請する大陸棚と重複する場合、当該国と協議がおこなわれる。

### ●大陸棚とは何か？

国連海洋法条約では、領海の基線から200カイリ(約350km)までの海底を大陸棚としている。また、大陸棚の周辺部が200カイリを超えて延びている場合、200カイリを超えて大陸棚を設定できる。

沿岸国は、大陸棚を探索し、そこに存在する天然資源を開発する権利を行使することができる。

### ●なぜ大陸棚の拡大を目指すのか？

今回、日本が申請するのは、小笠原諸島や南鳥島、沖ノ鳥島などの周辺にある7海域である。日本近海の海域には、クリーンエネルギーとして期待されるメタンハイドレートや、希少金属などを含む海底熱水鉱床の存在が確認されている。申請が認められて大陸棚が拡大すれば、これら海底資源の開発権を主張できることになる。資源の少ない日本にとって、大陸棚の拡大によるあらたな資源確保が期待される。

### 用語解説

#### ■国連海洋法条約

1994年に発効した海洋法秩序に関する条約。領海、公海、大陸棚、排他的経済水域の規定、国際海洋法裁判所などの国際機関の規定など、内容は多岐にわたる。日本は1996年に批准。2008年7月現在、156の国・地域が締結している。



## 解説 8

# サンゴが島を救う

### ●沖ノ鳥島にサンゴを

東京から約1700km南、日本の最南端に位置する沖ノ鳥島にサンゴを移植して島を保護する計画が、2006年に水産庁の「サンゴ増養殖技術検討委員会」で決定され、同年から実行されている。沖ノ鳥島で採取したサンゴを、沖縄のサンゴ種苗生産センターで産卵させ、育てた稚サンゴを再び沖ノ鳥島に返す、という取り組みである。

2006年から増養殖のための実験が始められ、2007年の移植を皮切りに、2008年には約6万個の稚サンゴが移植され、2009年1月には約1万2000個の稚サンゴを移植することが予定されている。

### ●沖ノ鳥島の現状

沖ノ鳥島はサンゴ礁で形成されているが、エルニーニョ現象や魚類の食害により減少している。また、波によ

る侵食も激しい。現在、サンゴ礁で形成される島本来の陸地の面積は10m<sup>2</sup>にも満たない。さらには、地球温暖化で海面上昇が進むと、200年以内に島が水没するとの試算もある。

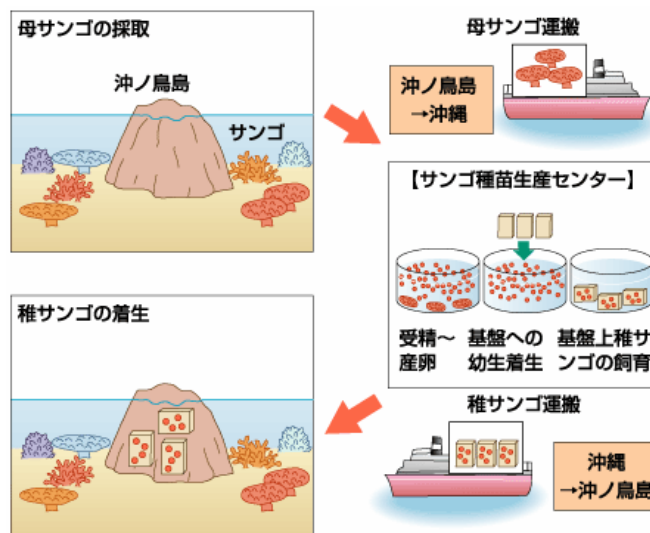
沖ノ鳥島が水没し、消失してしまうと、日本の領土よりも広い約40万km<sup>2</sup>もの排他的経済水域が失われることになる。付近の海域はマグロやカツオの良い漁場であり、海底には希少金属が豊富にある。これらの海洋権益を存続させるため、1988年から護岸工事が実施され、消失を防ぐための護岸コンクリートが設置されているが、コンクリートの劣化が進んでいる。一方、国連海洋法条約では、人工島を島とは認めず、排他的経済水域の境界画定には関係しないと規定している。そこで、サンゴを移植・増殖させて新たにサンゴ礁を形成させることで、島

全体を再び海面上に出すことはできないかと、この増養殖計画が立てられたのである。また、あらたにサンゴ礁を形成できれば、遠い将来、サンゴからできた砂が沖ノ鳥島の陸地を広げる可能性もあるといわれる。

### ●サンゴ移植技術と今後の展望

沖ノ鳥島のサンゴは、強い波で卵が流されてしまうため、自然に増えることができない。しかし、従来の移植技術では、サンゴを切り取る必要があるため、サンゴ礁を傷つけてしまう。そこで、新しく開発された、サンゴを切り取らずに、卵から育てて移植する技術が採用されたのである。

これは沖ノ鳥島の生態系を守るためにも有益であり、世界的にも最先端の技術である。今回の沖ノ鳥島の保護だけにとどまらず、ゆくゆくは世界各地のサンゴ礁の再生や水没の危機に瀕する島国を守るために、この技術が生かされることが期待されている。



沖ノ鳥島のサンゴ増養殖技術（水産庁資料）

## 解説

## 9

# グリーンランド自治権拡大投票

### ●氷の島、グリーンランド



人口は推定約5万8000人(2007年現在)。住民の9割近くがイヌイット、または、イヌイットとデンマーク人の混血である。

1380年からデンマーク領となり、1979年に自治政府が発足した。しかし、漁業や観光以外に目立った産業がないため、デンマークからグリーンランドの域内総生産の3分の2に相当する32億クローネ(約530億円)の補助を受け、デンマークに強く依存しているのが現状である。また、自治権も教育や社会保障に限られている。

### ●温暖化がもたらすもの

近年、地球温暖化によってグリーンランドの氷が融け、世界の海面が上昇することが懸念されている。しかし一方で、地球温暖化による氷の融解は、グリーンランドに住む

人々に独立の希望を与えている。

グリーンランドの周辺海域には、サウジアラビアの原油埋蔵量の4割にあたる油田をはじめとする地下資源が存在するとみられている。温暖化によって氷が融ければ、採掘や調査は容易になり、地下資源開発による収益が見込まれる。地下資源開発によってグリーンランド独自の財源が増え、経済的に自立できれば、デンマークから独立できる可能性も大きくなる。

### ●自治権拡大を求める住民投票

2008年11月25日、グリーンランドで、司法、警察、資源管理など、32分野における自治権拡大のための新法の是非を問う住民投票がおこなわれた。また、将来石油収入が発生した場合、7500万クローネ(約12億4000万円)までは自治政府が全額を獲得し、それ以上については、デンマークと折半する、との案も盛り込まれている。

投票は即日開票され、賛成76%、反対24%で可決した。デンマーク政府も、補助金を削減することを条件に合意しており、投票の結果を尊重する方針である。

新法の施行は、2009年6月に予定されている。自治政府は、新法施行が独立への第一歩になると期待している。グリーンランドが地下資源を開発し、独自の収入を得ることができるか否かが、独立を進める鍵となっている。

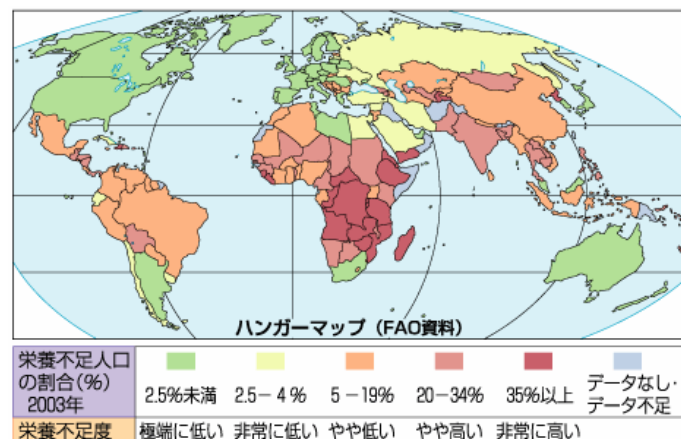
### ●人口増加

「世界人口白書」によると、2008 年の推定人口は約 67 億 4970 万人で、前年に比べて約 1 億 3380 万人増加している。また、世界人口は今後 20 年間で、発展途上国を中心に毎年 1 億人増えるとの見通しもある。一方、F A O (国連食糧農業機関) は 2008 年 9 月、2007 年の世界の栄養不足人口の推定数が 2005 年から約 7500 万人増加した 9 億 2300 万人になると発表した。これらの統計から、2007 年の段階で、世界の約 14% の人々が栄養不足状態にあったことがわかった。

### ●世界の飢餓状況

F A O は、2008 年の世界の穀物生産量は、過去最高の 21 億 6400 万 t になると予測している。これは、全世界の人々が 1 人当たり年間約 325kg 消費可能な量であり、6 年前と比較すると、約 20kg 増加している。それにもかかわらず、栄養不足人口は依然として増加しているのである。

W F P (国連世界食糧計画) は、「8 億 5000 万人以上の人々が空腹のまま眠りにつき、そのほとんどが女性と子どもである」、「6 秒に 1 人の子どもが、飢えやそれに関係する原因のために亡くなっている」など、5 つの「飢餓の実



態」を発表している。

国連は、1996 年に、2015 年までに飢餓人口を半減させ、4 億人程度にすることを目標に掲げたが、現在、目標達成は困難を極めている。

### ●世界食料デーと現在、直面している問題

飢餓人口の半減という目標達成を困難にしている原因の 1 つに、近年の食料価格の高騰がある。F A O は世界食料デーに先立ち、①「食料価格が急激に上昇しており、これが飢餓人口を増加させている」、②「気候変動による干ばつや豪雨の頻発とバイオ燃料需要の高まりが価格高騰に関係している」と発表した。

世界食料デーは、「すべての人に食料を」を現実のものとするため、世界が協力し合い、飢餓や栄養不良、貧困の解決を目指して、1980 年の国連総会で制定された。毎年 10 月 16 日が、世界食料デーにあたる。

現在、アメリカのサブプライムローン問題に端を発する金融危機が、世界中で起こっている。この金融危機は、飢餓問題の解決にも影響を与えている。F A O 事務局長のジャック=ディウフは、「金融危機は発展途上国の貧しい人たちの窮状をますます深刻化させる可能性がある」と述べ、「各国政府は世界的に広がっている金融危機に対応するために、開発途上国の農業への援助を削減したり、保護主義的な貿易政策を採用するべきではない」と警告している。<sup>1</sup>

世界食料デーが目指しているように、世界中が協力し合って、数々の食料問題を解決していこうとする姿勢が望まれる。

<sup>1</sup> F A O プレスリリース No. 118

## 解説⑦～⑩に関連するホームページのURL

阿嘉島臨海研究所 ◆ <http://www.amsl.or.jp/>

沖ノ鳥島へのサンゴ増養殖計画に協力している研究所。現在おこなわれているサンゴ研究の情報を提供。

W F P 国連世界食糧計画 ◆ <http://www.wfp.or.jp/>

W F P の活動、世界の飢餓の状況などについての情報を掲載。